



ひろば



令和4年11月1日 発行

子供たちが育てた「県民体育大会に向けた花」※国道沿

10月20日住用豪雨災害の日 —この日を忘れないための本校の取組—

校長 山美奈子

私たちは、12年前の「奄美豪雨災害」を忘れず、この日のことを教訓に、常に命を守る行動がとれるようにしておかなければならないと考えています。そこで今年度は以下の取組を行いました。

1 全校朝会 (10/4)

時間が経つにつれ、水かさが増すプール、土砂崩れ。郵便局の屋根の上に避難する人々、水が引いた後の住用支所の姿など当時の写真やニュースを提示しながら、「2010年奄美豪雨災害」を子供たちに伝えました。

2 避難訓練 (10/20 2時間目)

地震津波を想定しての避難訓練。垂直避難で図書室に避難しました。消防署の方から、避難する際に注意することなどについてご指導していただきました。

3 黙とう (10/20 14:00)

犠牲になられた方々への哀悼の意を込めて、サイレンとともに全員で黙とうしました。

4 小中合同防災教室 (10/20 5・6時間目)

(1) 講義

名瀬測候所の方から豪雨警戒レベルについての詳しいお話や、どのタイミングで避難すればよいかなどのお話を伺いました。ひざまで水に浸かるとなかなか前には進めない。命を守る行動として、早めの避難がいかに大事であるかがよくわかりました。

(2) ワークショップ

児童生徒は各集落ごとに分かれて、また、地域の方、保護者も同じように班になり、家族構成、住む場所など与えられた条件で、いつ避難するかを考えました。

(3) 体験者講話

実際に豪雨災害を体験された和田美智子さんのお話の中で、「住用は、台風より水害が怖いです。」というお言葉がありました。繰り返し起こる災害。日頃から災害に対しての心構えと準備が大事であることを改めて学びました。

今回の防災教室では、保護者や地域の方々にもご参加いただきました。これからも地域ぐるみで防災を考えていきたいと思ひます。お忙しい中ご参加くださいました皆様へ感謝申し上げます。



つゆよ つゆよ
露の世は 露の世ながら さりながら

小林一茶

もう半世紀近く前のことだ。小学一年生の給食は六年生のお兄さんお姉さんたちが、配膳を手伝ってくれていた。その中でも、いつも私たち下級生に優しく接してくれるお姉さんがいた。運動会の入場行進の先頭をいく鼓笛隊のリーダー。指揮者として朝礼台に立つ姿は凛としていて、かっこよく、みんなのあこがれのお姉さんだった。

その年、運動会が終わった頃、大きな台風が徳之島を直撃。台風が去って登校すると、全校児童が体育館に集められ、校長先生から、そのお姉さんが亡くなったことを知らされた。お姉さんの家の裏山が崩れ、直径一メートルの大きな岩がお姉さんを直撃したということだった。体育館で多くの小学生が泣いている光景。そのあまりにも衝撃的な記憶は五十年近く経っても忘れることはなく、今でも台風が来ると、あのときのなんとも言えないざわざわもやもやとした気持ち胸の中いっばいに広がって、とても怖くなる。当時はおそらく、今のような防災の知識も広まっていなかったんだろうと思う。もし、どこか安全な場所に避難していれば。もし、山側と反対の部屋に寝ていたら。そんなことを考えずにはいられない。

文頭の句の作者である一茶は、やっとな授かった娘を天然痘でわずかに二歳の時に亡くしている。はかない露に短い我が子の命を重ね、娘の死からくる悲しみを乗り越えられずにいる気持ちを表現している。我が子を失ったいきどおりのない一茶の悲しみがひしひしと伝わり、とても切ない。

災害はいつどこで起きるかわからない。だからこそ、「今ここで地震が起きたらどうするか。」「大雨が続いているからどのように行動しようか。」と、自分の身を守り命を守るために、子どもたち自身も常に想像力を働かせてほしいと思う。同時に、私たち子どもを守る立場を自覚し、防災についての心構えを子どもたちもしっかりと教えていく役割を果たしていきたい。

島の伝統と文化を学ぶ ～郷土愛を育む活動～



子供たちは11月5日(土)の学習発表会に向けて、「ワイド節」と「いねすり節」の練習をしています。ここ数年は、コロナ禍の影響でなかなか練習ができませんでしたが、今年は、講師の先生(満香恵子さん、橋本和昌さん)をお招きしてがんばっています。他にも、竿おどりの練習を重田大介さんに教わりながら、島の伝統と文化を学んでいます。学習発表会では、子供たちのすてきな歌声と踊りが見られることだと思います。人数制限など行いませんので地域や保護者の皆様、ご近所の方々もお誘いの上、ご参観下さい。

住用へき地・保育所、住用小・中学校学習発表会

日 時：令和4年11月5日(土) 8:50～11:30

場 所：住用中学校体育館 ※お車でお越しの際は、中学校体育館の横をご利用ください。

その他：発熱などの症状のある方は、来校をお控え下さい。

安全で安心な環境づくり ～地域と共に歩む学校～



10月9日(日)に学校の環境整備をPTAや地域の方の協力をいただいて行いました。コロナ禍の中、なかなかお願いできなかった学校敷地内の木の伐採や草払い、国道沿い壁面の草の除去等を行いました。職員や子供たちだけでは手の届かないところもきれいにいただきました。

地域の方の澤修平さんや定岡良治さんにもお手伝いをいただきました。ありがとうございました。

☆学校応援団の募集☆

学校の環境整備や行事のお手伝い、授業の補助(ミシン縫いのお手伝い等)をしにくさる「学校応援団」の募集をしています。本校では子供たちの人数が減少傾向にある中、子供たちのサポートが必要となってきています。ご都合のよい時の参加で結構ですので、興味のある方は、ご連絡ください。

連絡先 住用小学校 69-2109 教頭 所崎

地域でみんなの命を守る～10/20 奄美豪雨災害から学ぶ～



名瀬測候所を講師に招いて、災害の備えについて学びました。区長さんを始め地域や保護者の方にも参加していただき命を守る取組について考えました。災害経験者の和田美智子さんにも当時の様子について話をいただきました。

11月行事 1日(木) 校内読書月間(～30日)、道徳科授業参観(2校時) 5日(土) 保小中合同学習発表会 9日(水) 市音楽発表会
18日(金) 中学年集合学習 29日(木) 授業参観、学校保健委員会、学級PTA、PTA役員会 30日(水) 児童総会

12月行事 1日(木) 人権教室 5日(月)～9日(金) 劇団四季視聴 23日(金) 終業式、愛のパトロール

